

現場訪問

会社見学してきました



株式会社環境技研



HPはこちら

訪問日：2024年2月26日

株式会社環境技研は、目に見えない空気、放射線から、人が摂取する食品や医薬品まで、日常生活に関わる様々な物質をモニタリングしています。私たちが気付かぬうちに、安心・安全な暮らしを守っています。

1. 会社概要

- (1) 所在地 高崎市金古町1709-1
- (2) 設立 1972年6月
- (3) 従業員数 120名 (2023年9月現在)
- (4) 主な事業内容

①環境分析：

水質、大気、土壤、騒音・振動、臭気等

②製品分析：

工業製品・原材料、食品、医薬品等

2. 沿革、特徴

同社は、高崎市問屋町で化学薬品を取り扱う専門商社の「和光化学株式会社」が1972年に環境分析部門を分社化し、設立された。当時は、多くの地方公共団体で公害対策として環境基準が設定された時期であった。

以後半世紀にわたり、公害対策をはじめとした環境分析を主業としつつ、社会や顧客の要求に応じて分析対象を広げてきた。なかでも、2013年に参入した医薬品分析は、市場の拡大が著しい。昨年9月に竣工した医薬試験棟(4号棟)には、世界最先端の分析機器が導入され、多様化・高度化するニーズに応えることが可能となっている。



本社社屋に隣接する4号棟

このように、同社は、環境分析から製品分析まで行う「総合分析センター」として、全国の幅広い顧客から依頼を受けて、人々の暮らしに関わる物質の安全性を確認する重要な役割を

担っている。なお、分析対象は、水や空気のように現地に出向いて採取するもののほか、医薬品のように全国各地の医薬品メーカーから郵送されてくるものがある。



顧客の工場での大気の採取・測定

3. 見学内容

各研究棟での様々な分析の様子を見学させていただいた。

(1) 水質分析

主に県内の地方公共団体や企業から依頼を受け、河川や地下水、工場排水、公衆浴場等の水質分析を定期的に行っている。現地で採取した水に前処理を施し、分析機器を用いて、色、臭い、化学物質および細菌の有無、消毒効果などを調査している。



フラスコ内で水と薬品を反応させる社員

(2)放射能測定

放射能測定の対象は、食品や飲料水をはじめ、汚泥、廃棄物など幅広い。2011年の東日本大震災に伴う福島第一原発事故に係る放射能測定は、今も継続している。



総重量1トン超の放射能測定器

(3)微生物検査

微生物検査は、水や土壤、食品、医薬品などが対象となる。清浄度レベルの高いクリーンルームを設置しており、無菌状態を保ちながら精度の高い検査を行うことが可能となっている。



全身を覆う作業服姿で微生物検査を行う社員

(4)医薬品分析・試験

全国各地の医薬品メーカーから原料および製剤の分析・試験を受託している。安定性試験では、温度、湿度、光等による影響のもとで、時間の経過に伴う品質の変化を評価している。この結果に基づき、医薬品メーカーは、原料および製剤の有効期間や保存条件を設定している。

社会では、医薬品の信頼性確保が求められる中、第三者による客観的評価が得られる外注試験のニーズは高まる一方であり、同社の役割は大きくなっている。



世界最先端の医薬品の成分分析装置



医薬品の安定性試験機の説明をする湯澤センター長

4. 見学を終えて

数々の最先端機器と優秀な人材が集まっており、全国有数の分析力を誇っていることが分かった。

人材の確保・育成・定着に向けて、4号棟には快適なワークスペースが設けられていたほか、休暇制度や教育制度も充実しており、社員を大切にする風土を実感した。

今後も、県内各地における水や空気などの定期測定を通じて、目に見えないリスクから我々群馬県民を守り続けてくれることだろう。



自由に席を選べるワークスペース

(記事：研究員 稲田純也)

ご案内頂きました、小林社長をはじめ、皆様方、誠にありがとうございました。